

# サステナブル社会の 実現に向けた経営理念



## ▼ サステナブル・ビジョン

## ▼ グリーンファースト

### 住宅業界のトップランナーとして当社が大切に考え、 お客様と共有してきた価値を、 「サステナブル・ビジョン」へとつなげてきました

地球温暖化による異常気象の発生、自然災害の増加、資源の減少、生態系の破壊。さらには、生活・経済活動に起因するエネルギー消費の拡大とエネルギー供給システムの脆弱性など、地球規模で解決すべき多くの課題が顕在化してきました。

このことは、私たちの安全・安心で健康・快適な暮らしを考える前提として、同時に地球環境や社会に与える影響を考えなければならない時代になっているということを意味しています。

当社は、これに対して「住宅には住まう人の幸せを実現すると同時に、社会のさまざまな課題を解決する力がある」との認識の下に、経営の基盤に持続可能性の実現という軸（「サステナブル・ビジョン」）を据えて、事業のあり方を考え続けてきました。ここでは、住宅業界のトップランナーとして蓄積してきた環境負荷低減に向けた技術力や、社会課題解決に向けた価値提案を支える、当社の経営理念や考え方をご紹介します。

#### 「いつもいまが快適」な住まいを実現するために 変化する時代の要請を先取りし、常に住まい手視点で家づくりを考えてきました

お客様の多様な要望に対し、「いつもいまが快適」な暮らしを、時代を先取りした提案で応えるためには、すべての社員が持続可能な社会の姿を踏まえ、経営理念等を共有して総合力を発揮することが求められます。

年代別の数値は、当社が供給した住宅の累積建築戸数です

当社は最多の住宅供給実績を誇る住宅メーカーです。1960年の創立以来、累積建築戸数は、全国で209万戸（2012年1月末）。当社は1980年代から「いつもいまが快適」という言葉を掲げ、メンテナンスやリフォームも含めた住まいの品質維持に努め、お客様との末永いコミュニケーションを大切にしています。

工業化住宅の基礎確立の時代  
「デザイン」「性能提案」「親自然」の時代  
住宅の「質」と「性能」拡大向上の時代  
「環境配慮」と「快適性」両立の時代

1960年 積水ハウス 創立



1989年 企業理念の制定

**人間愛 私たちの根本哲学**  
「人間は夫々かけがえない貴重な存在であると云う認識の下に、相手の幸せを願いその喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する事である。」

会社は人間によって成り立っており、社員一人一人の心の持ち方と関係のあり方こそが、事業・経営の根幹をなすものであり、社会に貢献する根源であると考えています。

【背景】創業以来順調に業績を伸ばしてきましたが、社会環境も著しく変化する中、お客様本位の姿勢、最高の品質を目指す誇り、協力工事店を含めた人間関係において、原点を確認する「心の拠り処」として制定。あるべき姿を常に追究する精神・行動に弛緩が生じていないかという問いかけと自戒を社員に促しました。



1999年「環境未来計画」

「人・街・地球」の調和を目指して環境憲章と環境基本方針を制定。それまで個別に進めていた環境対応を横断組織の下で統合し、経営課題として位置付けました。

2004年 中期経営ビジョン

業界トップ企業として、顧客満足 (CS)、従業員満足 (ES)、株主満足 (SS) の三位一体の向上のもとに、事業推進に取り組み、CSR (企業の社会的責任) を経営の基本として、すべてのステークホルダーに対し誠実にその責任を果たしていくことを宣言しました。

【背景】景気低迷から回復の兆しの中で、景気変動や事業環境の変化に対応できる強い企業グループを目指し組織を再編し、新たな「成長」に向けた経営戦略を策定。

2008年「エコ・ファーストの約束」

当社は、環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、業界初の「エコ・ファースト企業」として認定を受け、低炭素社会の実現や、生態系保全、資源循環等に対して積極的に取り組むことを環境大臣に約束。業界のトップランナーとして、業界全体の取り組み水準の向上をも意識し、自覚をもって取り組むことを明確にしました。



2005年「サステナブル宣言」

目指すべき「持続可能な社会」をビジョンとして定義し、これを実現・検証するため「経済」のみならず、「環境」「社会」、さらに住宅産業の特性から独自に「住まい手」という「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指すことを宣言しました。2006年には、実際の事業活動や意思決定の際のガイドとなるように、それぞれの価値を振り下げた「13の指針」を定めました。

「サステナブル・ビジョン」

持続可能な社会とは、地球生態系本来のバランスを基本とし、将来にわたってすべての人々が快適に暮らせる社会のこと。積水ハウスはお客様にご満足いただける住まいの提供を通じて持続可能な社会の構築に寄与するとともに、その社会の中で暮らしの提供をリードしつづける「住環境創造企業」をめざします。

2006年

「13の指針」



【背景】経済活動の活性化とともに社会や地球環境、未来に与える影響範囲が拡大。安全・安心で、快適な暮らしの基盤となる社会や地球環境への配慮が不可欠となり、企業に求められる社会的責任は一層重いものとなってきました。当社は、住宅事業が社会に与える影響の大きさを認識し、真摯に取り組んでいくために「持続可能性」を経営の基軸に据えました。

# サステナブル社会の 実現に向けた経営理念



## ▼ サステナブル・ビジョン

## ▼ グリーンファースト

### 「グリーンファースト」が提供する「いつもいまが快適」な暮らし。 その進化・普及で、持続可能な社会を目指します

住まい手の安全・安心で、快適な暮らしと環境配慮が相反するものであれば、取り組みは長続きしません。  
住まい手のメリットと環境保全効果の方向を合わせることで初めて、  
永続的に持続可能な住まいづくりが可能になると考えています。

#### 「グリーンファースト」が実現する暮らしを支える私たちの思い

「快適性」「経済性」「環境配慮」を高い次元でバランスよく融合させた住まいを、お客様目線でご提案。時代の要請に応じています。

#### 安全・安心で、健康・快適な暮らしの提供

ライフスタイルや敷地条件などを考慮し、実績に裏付けられた住まいづくりのノウハウで、ご家族に合わせた、豊かな毎日を提供します。

#### 住まいの長寿命化、資産価値の向上

日々の暮らしにおける経済性にとどまらず、年月とともに愛着をはぐむ住まいづくりで、将来の資産価値を高めます。

#### 低炭素社会、循環型社会、環境共生の実現

住まいづくりを通じて、快適で豊かな暮らしと生活基盤である地球環境の保全を両立し、持続可能な社会づくりに寄与します。



先進技術 (SMART) が支える豊かな暮らし (SLOW) をスローガンに「グリーンファースト」を進化させ、「快適性」「経済性」「環境配慮」を高いレベルで具現化した住まいづくりを進めます。

## 自然とともに暮らす豊かな毎日

### 日本の気候風土を考えた庭づくり「5本の樹」計画



日本各地の気候風土を考えた在来樹種を中心とした庭づくりです。生き物の生息環境をつくるとともに、自然と共生する暮らしを実現します。



## 「いつもいまが快適」を具現化する設計手法

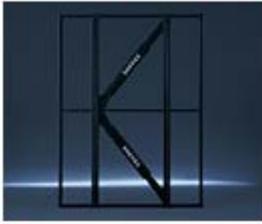
### 安全・安心、使いやすさに「心地よさ」を加えた「スマートUD」



家族の年齢や体格、体力の違いなど、長い生涯の中で家族それぞれの身体機能の変化に合わせて、将来にわたって安全で暮らしやすい住まいを提供する「ユニバーサルデザイン」に触感や操作感などに訴える「心地よさ」まで追求した当社独自の設計手法です。

地震後の回復力も考えた  
構造技術で暮らしを守り続けます

国土交通大臣認定オリジナル制震システム「シーカス」



地震動エネルギーを熱エネルギーに変換して吸収する制震システムです。建物の変形を約2分の1におさえ、繰り返しの地震に効果を発揮します。



子どものことを考えた室内空気は  
家族みんなにやさしい

「空気」も選ぶ時代へ 空気環境配慮仕様「エアキス」

2011年7月、「グリーンファースト」のさらなる深化として、鉄骨戸建住宅主力商品に標準採用しました。住宅性能表示制度の対象である5種類の化学物質の室内濃度について、国の指針値の2分の1以下を実現するものです。

空気環境配慮仕様

**Airkis**  
エアキス





災害時の安全・安心と日常の環境配慮で、  
いつも暮らしを守ります

世界初、3電池で自立できる家「グリーンファースト ハイブリッド」

2011年8月に、3電池（太陽電池・燃料電池・蓄電池）をHEMS（家庭内エネルギー管理システム）により連動させる「グリーンファースト ハイブリッド」を発売しました。快適に暮らしながら、大幅な節電を可能にし、災害時も自立した暮らしを実現できます。「まちの発電所」として社会にも貢献。これからの社会を考えた先進のスマートハウスです。

**Green First HYBRID**  
グリーンファースト スマートハウス

ガスで  
電気とお湯を  
同時につくる  
燃料電池



+

太陽の光で  
電気をつくる  
太陽電池



+

電気を  
ストック  
できる  
蓄電池



Slow & Smart

ゆっくり生きてゆく、住まいの先進技術。